



議会だより

第167号

発行
令和元年11月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 広浜 喜一郎 ■編集：議会広報編集委員会 ■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



集団災害救急事故訓練(10月7日あおぞら広場)

令和元年第3回定例会が、9月11日～20日まで開催されました。

主な内容

一般質問(5名).....	2～6
論点.....	7
発議(意見書).....	8
種子島屋久島議会議員要望事項.....	9
人事・編集後記他.....	10

一般質問



濱田 一徳 議員

課題に対する取り組み 姿勢について

濱田 過去の議会議事録を見ると「検討します。検討させていただきます」と言う答弁が多々あるが、検討した結果の回答がない。次の議会の場か、広報紙等で検討結果を回答すべきではないか。

町長 できるものはすぐに実行し、時間を要するものやできないものは、原因等をしつかり検証するように職員に指示している。毎議会報告するわけにはいかないが、今後どういう形が一番いいものか調査研究したい。6月定例会でも検討中のものもあれば、速やかに実施したものもある。今後調査もさせていただきたい。

濱田 課題に対して通常の場合、担当課が対応し、事務分掌表にも業務範囲が明確に規定されている。しかし、これまでも堆肥センター等の赤字問題、人口減少問題、企業誘致問題、商店街の活性化問題等は各部署で真剣に検討し歴代町長も取り組んできた課題だと思いが目立った成果が見られない。そこで、提案ですが前例踏襲的な考え方を捨て担当部署、係を度外視した課題に対するプロジェクトチームを編成する気はないか。

町長 全国的にも係制度

を度外視した動きは進んでいないが、興味深い提案であると思う。現状では、事務分掌表に基づいて行われ、大きな課題については副町長をキャップに対応している。今後においては、効果的・効率的な事務分掌の在り方について考えていかなければならないと考えている。未来会議の中でも極力成果が出るよう協議・検討していただき、ご意見を賜ることができればと思っている。

防災計画について

濱田 避難誘導について、避難指示が出ても避難しない人、避難したくても移動手段がない人等いる。避難経路、手段方法、民生委員等との連携等計画書に反映されているか。

町長 避難経路として地域防災計画の資料編の中に、国道・県道・町道について示している。手段方法、民生委員等と地域住民の連携等についても地域防災計画では、共有するように努めるという形で反映されているが、詳細な取り組み方法については、計画書等においては作成されておりません。今後、地域にあった防災訓練を実施し、詳細についてご意見を賜り、内部においても協議してしっかり対応

できるように詰めていきたい。

濱田 災害時に停電しても使えるソーラー式の防犯灯の設置はできないか。

町長 現在、防犯灯のLED化を進めている。ソーラー式の防犯灯については、今後災害時に対応可能かどうか調査をしたいと思っている。

濱田 お年寄りが安心して避難場所に避難できるように介護職員を配置できないか。

町長 台風等の災害に備え避難場所を開設する場合は、避難場所に職員2名を配置している。介護職員の配置は、地域防災計画で避難生活の長期化が予想される場合に配慮することになっている。防災計画、避難の在り方等については、今後十分協議し、詰めてみたい。

農業用貯水設備について

濱田 町内に農業用貯水施設はいくつあるか。

町長 県営中山間地域総合整備事業で2基、県営畑地帯総合整備事業で7基ある。

総合農政課長 平成28年

度に各地区公民館長に対し、令和3年度新規採択予定の次期中山間事業の要望を取りまとめ要望のあった、野尻地区と田尾地区について、次期中山間事業の整備計画に盛り込み現在県に対して要望している。

濱田 以前各集落で使用していた水道設備を農業用貯水設備に利用できないか。

町長 各集落や受益者の同意が得られれば、貯水設備として利用することは可能である。

総合農政課長 貯水槽を新設した平野地区では1220万円、既存の貯水槽を利用した田代地区は147万円の事業費であった。町の農業水環境整備事業もある。受益者の皆さんで整備することも可能であるので今後地域の再要望等も受けながら対応したい。

濱田 川を利用した農機具洗車場は作れないか。

町長 一部河川改修後の寄り洲除去等の河川内作業を想定して昇降路が確保されたところはありますが、単に農機具洗車場を目的とした河川内への昇降路建設は現状では難しい。



名越 多喜子 議員

全町民で医療費削減を

名越 6月議会で癌検診率について胃癌・大腸癌・肺癌は10%、乳癌・子宮癌については20%台と言う事でしたが、健診を受けた人と受けないう人との医療費の差額はいくらですか。

町長 医療費適正化の為に、健診率向上と保健指導が重要である。特定健診受診率は、約50%で、特定保健指導率は、約72%である。一層の医療費適正化に努めていきたい。

保健福祉課長 癌検診者のデータはありませんで、生活習慣病医療費のデータとして、生活習慣病医療費については、健診受診者が年間10万4977円で未受診者は30万1678円であり、約3倍の差になる。

名越 平成30年度本町の医療について、一人一人が自覚し、できることを実行していくという観点から考える必要があると思います。そこで一人当りの平成30年度医療費総額と一般会計からの繰入額はいくらか。

保健福祉課長 平成30年度医療費総額は、6億7437万97000円であり、一人当たり4万1146円である。一般会計からの繰入総額は、1億4891万3382円である。又、一人当たり繰入額は、8万9170円である。

名越 糖尿病など持病を持っていて町民も努力をしていく必要があると思います。そこで、さつま町が県下でトップの健診率ですが、その取り組み方について伺います。

保健福祉課長 さつま町は3年連続で1位であり、平成29年度71.6%、20の地区公民館、130集落公民館があり、方法として各集落に健康づくり推進委員を配置し、集落内有線放送・集会時の啓発運動・チラシの配布・戸別訪問等を実施している。健診率が70%を超えた地区には、一律5万円の報奨金を支給している。

応急的な子供の遊び場を

名越 防災避難施設(あおぞら広場)にブランコやベンチ、砂場等の設置はできないか。

町長 あおぞら広場の遊具の設置については、設置場所や遊具の安全性を含めて、現在検討中であり、しばらく時間を頂きたいと思っています。

本格的な児童公園設置について

名越 皆さんの目の届く場所であり、市街地の近くである事などを考慮して、消防署の上の駐車場がトイレも設置されており又、図書館や駐車場もある事などから提案し

ているところです。早急な検討を頂きたいと思っております。町長の答弁を求めます。

町長 児童の健康増進や情緒を豊かにする為に、必要であると考えます。今後長期振興計画の中で、取り組んでおり関係部署と協議を進めていく事になる。現在スタッフと協議を進めています。

トミー市場の売上金積立を

名越 売上金は1億2千万を超えている。バックヤードの品物の搬入時の混雑や加工品や野菜類、土物、花卉類が同じ場所取扱いされているなど衛生上の観点からも問題であり、又、従業員の休憩場所もありません。台風災害等も考えて、修理や改修等の為に積み立てが必要だと思いが、どのように考えていますか。

町長 平成28年から平成30年までは、黒字となつていますが建設資金の起債償還が、令和8年まで年間800万円あり、修理や改修等には、必要に応じて、町有施設整備基金での対応を考えています。

ふるさと納税を子供達の為に

名越 ふるさと納税を郷土の子供達の為に活用すると言う事であれば、納税者の皆さんの郷土に対する思いも違ってくるのではないかと思います。

いますが、町長の考えは。

町長 ふるさと納税の活用は、配分された予算項目において、教育や文化事業として子供達に関する経費に、充当し活用している。今後も各種事業展開により、配分・充当していきたい。

子供達の島外遠征の交通費補助について

名越 子供達の文化関係やスポーツ関係の遠征に係る交通費(高速船等の補助)について、どのように考えるか。

町長 全てに対してという事は、非常に判断が難しい問題があり、現段階ではスポーツ少年団競技大会を対象に、島外大会出場に係る費用の一部を助成している。今までは、チームや団体に対してでしたが、6月の制度改正により、個人一人当たりいくらかという補助となり、大分良い制度となつている。又中学生に対しては、体育や文化活動における島外大会や、コンクールの出場費用の一部を、助成する制度があります。

島外からの土砂持ち込みについて

名越 その後土砂の持ち込みについて、一市三町に対して要請は来ていませんか。

町長 南種子町に対してはその後も何ら話は伺ったこととはございません。



福島 照男 議員

1期4年間の課題と目標値について

福島 今年の本町の10ヶ年計画を策定する重要な年であり、中身は当然行政全般に渡る訳ですからいろんな課題が含まれてきます。そうするとどうしても重要な課題がボケてきます。未来会議創設の前に、町民に向けて1期4年間で取り組む課題とその達成目標値についての強い思いを示してください。

町長 私のマニフェストは大きな3本の柱で示しています。目標値を設けるとその事だけに目が行き、他の重要な案件等が見落とされがちになる事が考えられます。また長期振興計画は私個人だけで出来るものでもありませんので、皆さんの意見を賜りながら出来て行くものと考えております。未来会議も近く設置の予定ですので、毎年しっかりと検証しながら前に進めてまいります。

福島 町長の答弁は半分は理解できます。しかしトップの強く熱い発信力で町民・職員に向けて発信しないと4年間終わって、結果が絵に書いた餅では困る訳です。必ずここまでを持って行くという決意を再度お願いします。

町長 財源確保等の問題もありますので、今ここで何年

に何をここまでするとと言う事は申し上げる事は出来ません。出来る事はすみやかに、大きな問題については、長期振興計画の中にしつかり反映させて頂くと言う事でご理解をお願いします。

学校問題について

福島 この度西野小学校が老朽化に伴う改修工事が完了しました。他の学校に於いても老朽化は進んでいると思われ、先日荃南小学校にお邪魔した際、あちこち傷んでおり対応に苦慮していました。現状と緊急整備の必要な施設の報告をお願いします。

教育委員会管理課長 各学校別にそれぞれ新旧の施設が有り説明しにくい所もありますが、1番古い施設は荃南小学校の昭和31年完成の平屋建て231㎡です。取り急ぎ必要な状況については荃南小学校と島間小学校校舎の雨漏り対策です。出来るだけ早急に対応したいと考えています。荃南小学校については、今年度小学校営繕工事で国旗掲揚台改修、渡り廊下の補修、不良遊具の撤去を行います。

農業活性化について

福島 前回儲かる農業会議の設置を提案したところ、前向きに検討するとの事でしたが進捗状況を示してください。

町長 未来会議の中で、いろんな方からの意見を求め、既存体制も充実させながら進めてまいります。

福島 葉物・枝物は本町にとつて有望な作物であり、積極的に推進してほしいと進言していますが、対応策を聞かせてください。

町長 今後生産者の増加も見込まれる事から、苗木の確保、栽培技術の確立など支援策を講じてまいります。

買い物対策について

福島 町民から度々買い物難民と言う声まで聞くようになり利便性の改善に取り組む必要がありますが、以前実施した買い物のアンケートの調査結果を報告してください。

企画課長 平成30年7月に実施した調査結果です。町

内での買い物比率、食料品1575%、日用品31%、電化製品15%、衣料品5%です。住民からの意見としては品揃えが豊富な新しい商業施設がほしいが63%でした。一方高齢者や交通弱者等の方々については、地元商店街を残してほしいという要望もあり、商工会等とも話し合い商店街の活性化を第一に考える必要があると考えています。

観光対策について

福島 いよいよH3ロケットの試験機1号機を2020年度中に打ち上げる予定と聞いています。これを機に観光促進を進めるいいチャンスであり、今一つインパクトが足りません。ロケットに乗り込み宇宙船から地球を見たり出来る様な模擬体験型施設がどうしても欲しくなります。JAXAに対し設置に向けて積極的に働きかけませんか。

町長 この宇宙の町としての観光資源、観光対策としては議員の提案には非常にインパクトの強いものがあります。また違った意味でも注目される方なので、JAXAさんの方には話をさせて頂きま



柳田 博 議員

農業振興について 町長の所心を問う

基幹作物に代る新規作物について

柳田 集落など、若い方々が集まる会合等では、必ず、中種子町では新規作物も導入し、お金の儲かる農業を目指している。本町の取り組みは、行政も農政も先見の目がないという、それだけ、基幹作物のみに頼っている、生活が出来ない、農家離れをする1番大きな要因と思うが。

町長 新規作物については、町技連会を中心に取り組んでいる。既存作物の振興を図りつつ高齢者でも取り組みが出来、機械投資の少ない新規作物の振興を各関係機関と連携をしていく。

集落農政座談会から要望について

柳田 JAのみならず、行政に対する意見と捉えるべきと思う。特に、さとうきび栽培についての質問が多かった様です。受委託者の間に入り込み、良く意見を聞き丁寧な対応が必要と思う。

町長 農作業受託組織の充実強化は、さとうきび生産振興を図る上で非常に重要である、受託作業等の向上を図るよう、現地研修会等の充実を図ります。

農産物の六次化の拡充について

柳田 近年、企業や、個人事業所等で開発された商品は30品目以上と聞く、しかし加工をする機器が古いし、種類等もないといえます。ふるさと納税の返礼品等にも活用することを考えると、施設や機器の改良、改修が不可欠と思うが。

町長 町特産品開発センターを拠点に、町観光物産館、トンミー市場の充実を図り、町民の皆さんにも幅広く利用頂いているところですが、利用団体の御意見も伺いながら、しつかりと、よりよい環境の充実に努めます。

営農研修施設の立地整備について

柳田 基幹作物や新規作物など新規就農者が、さまざまな農業に取り組む研修施設を誘致できないか。

町長 新規就農者育成確保、又将来を担う農家育成は非常に大切である。郡内の状況も調査を早急に行い研究をしてみたい。

防災放送設備(受信機)の改良・変更について

柳田 上中地区は、今だに

アナログ放送で町内でもデジタル方式と混在している状況と伺った。西之表市の受信機は、AM・FMラジオの電波を利用している、ラジオ式であり、文字表示、聴覚障害者も不自由なく利用出来る、又中種子町の受信機は、録音もでき再生して聞き返せたり、ケーブルより外して利用することもできます。本町も西之表なみの受信機にすべきと思うが。

河内温泉の経営について

町長 西之表市、中種子町の状況は詳しく存じていない、調査を実施し検討したい。

柳田 経営状況について。

保健福祉課長 赤字額が前年度の3.4倍2160万5000円で、うち430万円程度が高齢者等の福祉対策である。

柳田 温泉施設を経営維持するのに多額の費用を支出している。本町外の利用者も同額では福祉の面を見ても多少料金の引き上げを検討したらどうか。

町長 将来においては、使用料の見直しも含め、財政改革、民営化等も踏まえ協議する必要がありますが、現在経費縮減と利用拡大を図っており、今しばらくご理

解を頂きたい。

空き屋対策について

柳田 川商ハウス(株)と1市2町の首長が協定書を取り交わした。空き屋対策については、議会のたびに各議員から質問もあり、懸命に対策を講じている所であり非常に、前向きでいいことではあります。新聞報道の前に議会にも、一言ほしかったが、町長の考えを伺いたい。

町長 行政の各施策を推進する上において議会と行政が車の両輪となつて進めていく、大変重要であり、全協で説明をすべきであった。深く反省します。

種子島火縄銃南種子保存会について

柳田 各種イベント等で、火縄銃保存会や、ロケット大鼓保存会は現在少人数で、大変だと聞く、育成費や会員の勧誘等育成をどの様に考えているか。

町長 会員も役場の職員のみならず、幅広く会員募集も行い、サポート育成に、どのような取り組んでいくべきか、部内でも検討し一番いい手立てを考えていく。



塩釜 俊朗 議員

選挙投票率の向上と選挙環境の整備について

塩釜 本町の投票率は、地方選挙、国政選挙を含め低下傾向にある。このことは、本町のみならず全国的なものと云われております。若い有権者の投票率が低いのは、学校教育において選挙の意義や重要性を理解させるなり、社会や政治に対する判断力を身につけるのに十分なものになっていない事も一因ではないかと思っております。啓発のあり方、今後の方策について伺いたい。

町長 前回の参議院通常選挙の投票率は全国で48.8%、鹿児島県で45.75%、南種子町で56.5%と全国的に低投票率の結果であった。本町の年代別による投票率においては、20才から24才の投票率が28.92%と最も低く、18才、19才が34.48%、25才から29才が36.8%と若者の投票率の低さが目立った投票結果であった。今後の方策としては、これまでの啓発事業については継続し、新たに有権者となる高校生などからアイデアを取り入れるなど、教育委員会などと協力し、主権者教育に取り組む環境づくりの整備など、投票率の向上に、なお一層取り組んでまいりたい。

塩釜 高齢者、障がい者の投票環境が求められている。投票時における段差解消や人的介護等のバリアフリー化、施設に入居している方の投票

所の対応など、どのような取り組みをしているか。

選挙管理委員会事務局 長 各投票所に段差がある場所にはスロープを設置して車椅子での入場を可能にしている。又車椅子等についても各投票所に準備している。施設での投票方法については、指定病院施設等の不在者投票管理者、選挙管理委員会が指定した外部立会人、不在者投票管理者から選任された選挙事務補助者の立会人の中、行われている。

スポーツ合宿の誘致について

塩釜 本町の健康公園、テニスコート場等実際に整備され町民の多くに利用されている。県内、県外高校、大学、企業チームに施設を利用してもらう、町の活性化につなげていく必要がある。評判がよければ口コミでも他の団体も来る。逆に、悪い評判ができてしまうと、なかなか来ていただけなくなる。町を挙げての対応といったことが問題ではないかと思う。本町は温泉もあるので魅力があると思つている。スポーツ合宿誘致について、どのような考えを持っているか。

町長 今後の合宿の事業化について、限られた施設の中で受け入れとなりますが、

情報など、他自治体の状況も踏まえて、環境整備を調査し、十分真剣に協議検討したい。

スケートパークの設置について

塩釜 スケートボードについては、昨年の4月にクラブを結成し、スケートボード教室を年10回実施し、延べ人数は180名が参加していると聞きする。オリンピック競技でも採用され、本町でも愛好者が増えている。調査をし、検討していただきたい。

町長 設置については、設置場所、施設の規模の選定など検討をする必要がある。当面は、クラブや関係する部署と協議しながら場所の確保に努めたい。

鳥間港の現状と活用について

塩釜 鳥間港は、種子島南部の物流拠点であり、種子島、屋久島を結ぶ太陽丸の発着港、宇宙航空研究開発機構のロケット機材の搬入港として重要な港湾である。西防波堤の整備の進捗、今後の計画は、

建設課長 防波堤西沖側延伸部の整備を進めており来年の令和2年3月末で完了予定である。今後の計画については、令和元年度にしゅんせつ後の堆積経過状況等を調査の

上、令和2年度で残事業実施計画、新規事業にて東側防砂堤改修を令和2年度より計画している。今後も事業推進、整備要望を継続してまいりたい。

塩釜 観光客が来た場合、西之表から宇宙センターまで1時間10分程度、往復で2時間20分かかる。鳥間港から宇宙センターまで25分、往復50分に短縮される。旅行の日程が組みやすくと、屋久島とのルートも確定できれば、メリツトも大きいと考える。経済的にも期待される。主に観光客を目的とした高速船が臨時寄港できるように施設の整備を県とも協議できないか。

町長 県や運行会社のほうに確認する必要がある。高速船の臨時的な寄港が可能であれば寄港のための整備について県にもお願いしたい。

住民要望

塩釜 船川石油店前の交差点中央にゼブラ線の表示、右折、左折の表示がなく事故につながるのではないかと聞く、交通事故を未然に防ぐためにも表示をお願いしたい。

町長 町内の現状も調査し、年次計画的な交通安全対策に努めたい。

論

点

条例
●南種子町行政財産の使用料徴収条例等の一部を改正する条例制定等3件

消費税法、地方税法、地方交付税法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備及び地籍調査による地番変更について所要の改正を行うもの。

質疑 町民への告知及び使用料の増による予算額の今後の試算をすべきではないか。

答弁 10月1日施行は決定しており、そこを見越した予算編成である。

●南種子町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定等9件

地方公務員法の一部改正に伴い関係条文整理を行うもの。

質疑 男性の育児参加についての考え及び男性職員の育児休業取得状況はどうか。

答弁 男性職員の育児休業取得はまだない。職場全体の理解と法令を十分認識するような策が必要と思っている。

質疑 会計年度任用職員に対する分限適用については3年と1日目はどうなるか。

答弁 休職期間は3年を超えない範囲で給料は支給しない。

質疑 職員、町長、副町長、教育長の出張及び会計年度任用職員の出張旅費はどのようになっているか。

答弁 議員も含め、すべて一緒の旅費規定になっている。

質疑 消費税増税分の2%は旅費に反映されるのか。

答弁 旅費規定は改正していない。現状の規定で支給する。

●南種子町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について

住民基本台帳法施行令の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

質疑 外国人はファーストネーム、ミドルネーム等通称の場合どれを使うのか。

答弁 本人の申請によることになる。

●災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について

災害弔慰金の支給等に関する法律および施行令が改正されたことに伴う改正。

質疑 支給審査委員の数、町長が必要と認める者、医師、弁護士以外の職種の考えは。

答弁 他の自治体や県の考え方も参考に今後協議したい。

●南種子町国民健康保険基金条例の一部を改正する条例制定について

国保の制度改正に伴う基金条例の改正を行うもの。

●南種子町水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

水道法の一部改正により更新手数料を新たに定めるもの。

●令和元年度南種子町一般会計補正予算(第二号)の審議から

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出それぞれ8491万円を追加し、予算の総額を

歳入歳出それぞれ57億2919万4000円とするもの。

質疑 路線バス運行補助700万の対象期間はいつまでか、赤字補助と理解してよいか。

答弁 平成30年5月から平成31年3月までの分で赤字の補助ということに変わりはない。

質疑 土木費、工事請負費、教員住宅補修工事の場所、1戸当たりの費用は幾らか。

答弁 教員住宅20戸の修繕等行う。1戸約20万円の予算である。補修箇所は、障子の張替、縁側の一部破損補修、風呂場浴槽内の補修等である。

質疑 学校管理費でドライブレコーダー40万円を計上しているが公用車に着けるのか。

答弁 スクールバス6台の前後に着けるものである。

質疑 エアコン取付工事の進捗状況はどうなっているか。

答弁 10月末完成予定である。

質疑 町外から通勤している教職員の数とその理由は何か。

答弁 14名で、単身赴任で港に近い所に居住する例もある。

質疑 観光費のイベント出演料は何のイベント出演料か。

答弁 チャーター便増便に伴う歓迎、おもてなしの謝金である。

●令和元年度南種子町国民健康保険事業勘定特別補正予算

今回の補正は予算の総額に歳入歳出それぞれ689万2000円を追加し、予算の総額を8億4328万円とするもの。

●令和元年度南種子町介護保険特別会計補正予算

今回の補正は予算の総額に歳入歳出それぞれ61万4000円を追加し、予算の総額を6億9260万4000円とするもの。

●令和元年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出それぞれ391万円を追加し、予算の総額を8721万2000円とするもの。

発議

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半数を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する

食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを

支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上地方自治法第99条の規定により意見書を南種子町議会から提出。

【提出先】

- 内閣総理大臣
- 総務大臣
- 財務大臣
- 農林水産大臣
- 国土交通大臣

団体募集

議員との意見交換会

南種子町議会では、政策提案機能の強化及び拡大を図るため、意見交換会を開催いたします。

次のおり希望する団体を募集いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。

○対象
各種団体等

○意見交換の内容
あらかじめ提出していただいたテーマに基づき実施。
なお、時間は1時間から1時間30分程度。

○開催時間・場所
できるだけ各団体の要望する時間・場所で開催できるよう調整いたします。

○参加する議員
意見交換する内容等に応じ検討いたします。

○その他
具体的な実施方法等については希望団体と協議し決定いたします。

○問い合わせ及び申込み先
南種子町議会事務局
電話 26 1111 (内線280)

種子島屋久島議会議員国県への 要望事項確認

第8回種子島屋久島議会議員大会が10月3日屋久島町で開催予定でしたが、台風19号の影響を考慮し、大会が中止となりました。昨年も台風のため中止でした。

【各市町からの要望事項】

1. 離島地域における燃油価格差縮減について（西之表市）

【共同要望事項】

2. 県道野間13番西之表線と県道西之表南種子線を結ぶ横断道の整備について（中種子町）
3. さとうきびの品質取引に係る基準糖度帯種子島枠の創設並びに生産回復対策について（南種子町）
4. 口永良部島新岳噴火防災に伴う財政支援について（屋久島町）
5. 高速船（ジェットfoil）の更新問題について
6. 種子島空港の整備促進及び屋久島空港滑走路延伸の早期事業化について
7. 鹿児島県立中種子養護学校の施設改善の早期実現について

町からの要望及び共同での要望事項を採択し、各課題の前進に向け、県当局・県議会・県選出の国会議員等に要望活動を行ってきました。

2年続けて中止となったことから、今回は各市町から提案予定の要望事項について、1市3町の各議会でそれぞれ確認し、国・県等への要望を行うこととしました。

以上

今回の決定された要望事項は次の7件です。

は次の7件です。

は次の7件です。

議会を傍聴してみませんか

町民の皆様には、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、多くの方に傍聴していただきたいと考えています。

傍聴するときは、傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入するだけで傍聴できます。

町議会の定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開催されています。開催日が決まりましたら防災無線でお知らせいたします。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先 ☎26-1111（内線280・281）

人 事

教育委員任命(再任)

園田 昭眞(71歳)

南種子町中之上2058

番地17

昭和23年8月28日生



園田 昭眞氏



ホームページの閲覧について

左の二次元コードをスマー

トフォンなどで読み取ると南

種子町議会の議会だより(平

成22年6月発行分以降)と定

例会の会議録(平成27年第2

回定例会分以降)の閲覧がで

きます。是非ご活用ください。

議会だより



会議録



編集後記



令和元年第3回定例会(9月議
会)が9月11日から20日までの日程
で行われ、議長報告、町長行政報告、
一般質問、条例議案、予算議案、人事
議案等々が審議されました。

私たち、議会広報編集委員会は、
去る8月28日議会広報研修会に参
加し、指導を受けてまいりました。皆
様に読んでもらえる、興味をもたれ
る紙面作りに取り組まなければと考
えます。

質問、答弁の内容を変えることな
く、いかに文章を短くまとめるか、苦
勞するところです。

さて、ラグビーワールドカップ日本
大会が開催されております。全日本
の快進撃すばらしいことです。その横
で関西電力の金品授受が新聞等で報
道されております。大型プロジェクト
の裏には必ずと言っていいほど金品の
ウワサが流れます。

人の心を金で買う。動かすのです。
日本人の体質なのでしょうか。本事業

だけでなく関係ない箱物がついてく
る。それで地方が活気付く、それで人
の気持ちを本質からそらされる。善
し悪しは別として考えさせられる事
案です。

今年もまた多くの方たちが百歳の
仲間入りをしました。先日誕生日を
迎えた母が長女に「俺も足引き餅
をつかんばじゃよ」と言ったそうです。
それを次女に話したら「何をボケた
ことを言うとか」と言ったそうです。

次女は先日孫の足引き餅をついたば
かりでした。次女は自分のことばかり
考えていました。母は百と一歳になっ
たから自分の足引き餅をつかんばと
言うことでした。笑える一コマです。

大分涼しくなつて来ましたが、相次
いで台風が襲来し、大規模な災害が
発生しています。災害を未然に防ぐ
ために早めの対策をしましょう。

議会広報編集委員会

(文責) 廣濱 正治